

雪国観光圏整備計画

「あっというまに別世界

また来たくなる雪の国」

平成20年9月11日

新潟県・十日町市・魚沼市・南魚沼市
湯沢町・津南町・みなかみ町・栄村

雪国観光圏整備計画書

目 次

1	基本的な方針	1
2	観光圏の区域	6
3	滞在促進地区	14
4	観光圏整備計画の目標	15
5	雪国観光圏整備事業	16
6	計画期間等	26
7	その他市町村及び県が必要と認める事項	29
8	連携と推進の体制	31
9	住民との協議及び検討結果	34

添付 資料編

1 基本的な方針

(1) 基本コンセプトと基本方針

【はじめに】

新潟県南部の魚沼地域および群馬県、長野県の県境を接する地域は、人が住む場所としては世界に例を見ない豪雪地帯である。このような地域のなかにおいては、スキーや温泉そして山岳や森林等雪国の自然を中心とした観光が展開されてきた。加えてこの圏域は古くから越後と関東・上州方面や信州とをむすぶ街道が開かれ、そこに宿場町が栄え人々の往来が盛んであった。また、古くから湯治場としても知られる温泉の多い地域でもある。

雪はこれまでそこに生活を営んできた人々に多くの試練を与えてきたが、人々は知恵を廻らせて独自の生活文化・雪国文化を形成してきた。このような日本の雪国の原風景を残した自然や、そこに育まれた文化は世界的にも誇れる独自性の高いものであり、国際競争力のある一体的な観光圏として新たな観光展開による地域活性化をめざす。

【キーワードの整理】

以下には当圏域の特性や今後をめざす方向性を表わすキーワードを集めた。

◎ 雪・雪国という地域性

雪・雪国：豪雪、居住地域でこれだけの積雪地は世界でもまれ
景観：棚田景観、湯沢をはじめとしたホテル・マンション群のリゾート景観、スキー場

◎ 自然と環境

恵まれた自然：雪国ブナ帯の植生・動物、地形・地質：山岳・高原（谷川連峰、越後三山、尾瀬、苗場山）、湖・ダム湖、里山景観、段丘と扇状地
気象：雪、高温多湿、四季のメリハリ
地球環境との関係：環境問題、低炭素社会

◎歴史と文化

街道の往来、三国峠、清水峠、地域文化、雪国文化、上杉謙信、雪国の文学・美術（鈴木牧之、良寛、十辺舎一九、与謝野晶子他の近代の作家達が多く訪れている）。大地の芸術祭とその作品群。

◎味、農産物

農産物：コシヒカリ、高原野菜、山菜、食肉
加工品：酒・漬け物など発酵食品、雪中貯蔵
農業体験観光、グリーンツーリズム

◎温泉と観光展開

圏域全市町村に温泉がある。湯治場、温泉街、秘湯と山の湯
エコツーリズム・グリーンツーリズム、健康づくり（ウェルネス）、森林セラピー

◎こどもと未来：普遍的課題

次世代への引継ぎ、環境問題、遊び、環境教育
体験旅行：越後田舎体験、自然体験

【圏域の名称：ブランド名称】

当圏域の特徴を端的に言い表す言葉として最もふさわしいものが「雪国」であろう。今後の観光圏形成のシンボルとして「雪国」を観光圏の名前に冠し圏域名称を「雪国観光圏」とした。

雪国観光圏

【基本コンセプト】

本計画の基本コンセプトは、

雪国の自然環境と文化の魅力を国内外にアピールし、観光客の来訪

および滞在促進をめざす雪国観光圏ブランドの確立

とする。観光を通じて雪国を世界にアピールし、「訪れて良し、住んで良し」の魅力ある地域に育てていくことを目指す。

雪国という地域特性と整備された高速交通網や首都圏と近い利便性を活かし、現状のマーケットにあった観光資源の見直し・開発や、行政区域に左右されない観光ルートを整備することで、観光地の魅力と国際競争力を高めていく。

本事業は、三県にまたがる地域を雪国観光圏として設定することで、行政区の枠を超えて、行政、関係団体、企業そして市民が官民一体となって取り組み、長期的な戦略として地域経済全体を活性化させることを目指すものである。

【キャッチフレーズ】

本計画を推進するにあたって次のキャッチフレーズを使用する。

「あっというまに別世界 また来たくなる雪の国」

「あっというまに」は首都圏からの利便性と四季の変化が劇的であるという圏域の特性を表現し、「また来たくなる」は高リピート率と二地域居住を意識している。

【基本コンセプト雪国に求められるもの】

- なぜ、いま、雪国か。世界的視点＝地域的視点の時代的な視座
- 雪国が滞在観光、二地域居住の魅力になるか。発信する雪国ブランドとは。

多様な生き物や文化を育んだ自然の力
雪の力でブナの森が成立、森の力で生き物、木地師などが登場
収穫可能な恵みの雪の森から居住の雪の森へ

雪国の固有な自然、景観、環境の魅力
⇒温泉浴、森林浴、大気浴、雪浴

雪国自然と融合した暮らしの魅力
⇒雪国固有な作法、予知等情報、技と知恵

●地域から

- ・ 【雪国アイデンティティ】雪国に住む誇りと自信。自慢できる国へ。雪国アイデンティティの再発見と再評価
- ・ 【環境産業】雪国の自然、文化、技の再活用
- ・ 【生活文化と環境】暮らしやすい環境と雪国

●世界・圏外から

- ・ 【環境】地球温暖化対応
- ・ 【文明文化】大交流時代の魅力ある旅(世界遺産の旅)
- ・ 【生きる力】自然・社会とのコミュニケーション力
衰退現代人への対応
- ・ 【食養生】安心安全の食への期待

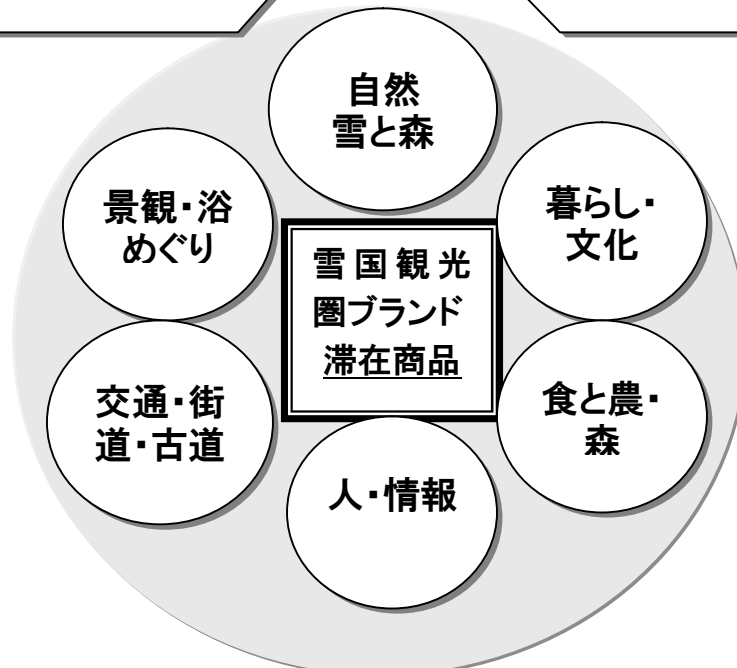
●観光圏テーマ

- 雪国ガイド
- 雪国教育
- 雪国自然、文化、技の商品化
- 雪国生活様式
- 雪国としての国際的魅力

雪国観光
圏ブランド
構築へ

●観光圏テーマ

- ・ 自然融合生活文化＝ライフスタイルの商品化と発信
- 大自然を体験満喫できる『健康浴』の旅
- 自然や風土と対話できる野外体験、芸術体験ガイドツアー
- 二地域滞在居住で地域との交流生活
- 地産地消、コシヒカリの国



【基本方針】

以上の圏域の特性をあらわすキーワードとコンセプトから以下に雪国観光圏の目指すものを基本方針として4つの柱にまとめた。

1 「雪を通じた国際観光の展開」

世界的にも珍しい、人の住む豪雪地域である当圏域において、この恵まれた自然環境と「雪」という天からの恵みを、次の世代をになう子ども達への贈り物として（雪の降る環境を）残すことが、地球環境を護ることにつながる重要な役割をもつものとして位置づけ世界にアピールしていく。

2 「雪国らしい新たな観光産業の形成」

雪に育まれた自然と雪が育んだ衣食住すべての生活文化を観光の資源として見直し、新たな観光のブランド形成として雪国観光の振興を図る。これは単なる観光の振興のみでなく観光に関連する農業等地域産業すべてが連動して初めて観光が成立するものとして捕らえ、地域産業の全体のグレードアップと地域経済の活性化を目指すものである。

3 「滞在型観光の促進」

圏域にある温泉地や暖かい人情と厳しくもやさしい自然を活かして、訪れてよし、住んでよしの地域づくりをめざした滞在型観光を促進する。単純な入込み数の増加ではなく、この地域により長く滞在して地域のよさを味わってもらいリピーターを確保する。その先には二地域居住を見据えている。

4 「地域づくり・人づくりの推進」

地域づくりは人づくりとよく言われるように、人の魅力は地域の魅力であり、おもてなしの心を大切にしたい人づくりは観光地づくり・地域づくりの要と位置づけて行政の枠を越えた人々の交流と連携による活動の展開を図る。

また、観光案内情報発信機能の向上、二次交通等の交通条件向上をすすめ、観光からの地域づくりを目指す。

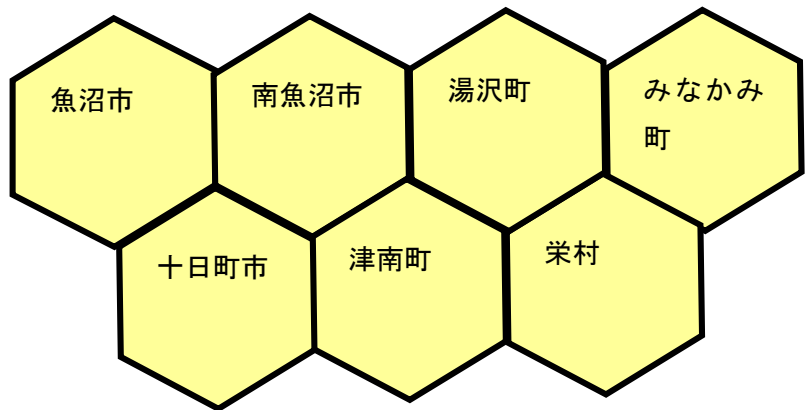
2 観光圏の区域

(1) 観光圏の区域

本計画においては、新潟県の三魚沼地域の魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町および群馬県みなかみ町、長野県栄村の7市町村を圏域とする雪国観光圏を形成する。

【雪国観光圏の構成市町村】

- ・ 十日町市
- ・ 魚沼市
- ・ 南魚沼市
- ・ 湯沢町
- ・ 津南町
- ・ みなかみ町（群馬県）
- ・ 栄村（長野県）



(2) 圏域の特性

(2-1) 位置および交通

★観光的視点から見てアクセス交通の利便性が高い

当圏域には、J R 上越新幹線（乗降駅 2 箇所）、高速道路関越自動車道など、めぐまれた高速交通網が整備されている。これによって越後湯沢駅を中心に、首都圏とは 2 時間弱で結ばれることになり、十分に日帰り観光も可能となってきた。したがってこの地域に滞在するための居心地のよい魅力を、いかに形成していくかが今後の大きな課題である。

交通手段		特性等	首都圏から
鉄道	J R 上越新幹線	越後湯沢駅、浦佐駅の 2 駅がある	湯沢駅まで東京駅から 1 時間
	その他の鉄道網	J R 上越線、飯山線、只見線、北越急行	
道路	高速道路	関越自動車道：湯沢、塩沢、六日町、小出 IC	練馬 I C から約 3 時間
	主要国道	17 号、117 号、他に 252 号、253 号など	



(2-2) 雪国観光圏の観光資源特性

★ 雪国の自然および雪国の原風景＝豊かな自然と景観を有する山岳・河川

この地域の山々の深い森林は雪を蓄え、そこから流れ出る水は清く、溪谷は深く、人々の侵入を阻んできた。山は上信越国境の谷川連峰や苗場山などがあり、日本百名山に名を連ねる峰も多く登山の人气も高い。

また、日本一の大河信濃川やその支流魚野川が圏域の軸線となるように流れ、流域には扇状地や段丘が発達し人々の生活を育んできた。このような雪と大地は独自の原風景を形成している。

資源と分野	優れた景観および自然系の観光資源	関係市町村等
山岳・高原およびその景観	谷川連峰	湯沢町、みなかみ町、南魚沼市
	苗場山	栄村、津南町、湯沢町、十日町市
	巻機山と越後三山	南魚沼市、魚沼市
	関田山系	十日町市
	尾瀬（魚沼ルート、水上ルート）	魚沼市、みなかみ町
自然環境（河川湖沼も）	魚野川と支流および源流	湯沢町、南魚沼市、魚沼市
	信濃川と沿岸の段丘	栄村、津南町、十日町市
	利根川とその源流	みなかみ町
	赤谷湖	みなかみ町
	三国川ダム(しゃくなげ湖)とその周辺、五十沢キャンプ場	南魚沼市
	奥只見湖と奥只見シルバーライン	魚沼市
	清津峡	十日町市、湯沢町
	秋山郷の溪谷	津南町、栄村
森林・高原	苗場山 小松原	津南町
	平ヶ岳、尾瀬	魚沼市
	銀山平	魚沼市
雪を活かす	各地のスキー場	全市町村
	雪室、雪中貯蔵	十日町市、南魚沼市、魚沼市

★「雪国と歴史文化」の大切な観光の資源

日本有数の豪雪地として知られる当圏域は、小説「雪国」によって世界的にも知られている。雪の季節は、「スキー」をはじめとした冬季のレジャー観光地として関東を中心に多くの人を集めているが、それ以外の雪そのものの活用は観光も含めてまだこれからである。

地域には日本海側特有の気候を背景にこのような積雪が深い地区で人の住むところとしては世界でもまれな地域である。その日本海側の気候特性からブナに代表される落葉広葉樹主体の植生や動物など、また、雪は人々の生活文化にも大きな影響を与え特有の文化を形成してきた。雪解け水や雪国の気候がコシヒカリのようなおいしい農作物やおいしい日本酒の醸造を可能としており、人々がそこに生きる技と力を育んできた。

これに加えて、小説「雪国」はノーベル賞作家川端康成によって湯沢（高半旅館）に滞在して書かれたもので、アジア各国の教科書をはじめとして海外に広く紹介されており、雪国のイメージは国内のみならず外国人にもロマンを与えている。

近年は、これに加えて越後妻有トリエンナーレが定期的に催されその作品群も観光的な資源の一つとして、また地域づくりの素材として注目されている。

★街道（歴史文化）

街道は関東上州方面に至る「三国街道」が有名であり、信濃川沿岸は「十日町街道」（飯山街道～北国街道につながる）が信濃とつながっていた。他に清水峠を越え関東に至る道や、秋山郷を経由して草津に至る草津街道などもあった。

雪国(SNOW COUNTRY)が意味するもの



ノーベル文学賞作家川端康成の代表作「雪国」
世界120カ国で翻訳され、日本人らしい繊細な情景美は世界的に高く評価されている。

世界的な豪雪地として知られる三国・魚沼地域。
日本海からの水分を含んだシベリアからの寒気
は谷川連峰によって、この地域に大量の雪を降らせる。
雪によってもたらされる豊かな自然環境、雪と共存してきた生活文化、そして雪によって彩られる幻想的な世界。

世界に類がないこの自然環境こそ日本が誇る観光資源であると考えます。

雪があるから、豊かな水がある。豊かな水があるから、良質な農産物が生まれる。
天然の冷蔵庫がで作る良質な酒や発酵食品。季節の変化がもたらす雪国ならではの山の幸
雪の中で織り、雪の光で晒す紬製品。豪雪が雪国文化を創り出す。

分野	観光資源およびその要素	関係市町村
芸術文化	文学：川端康成「雪国」、与謝野晶子、鈴木牧之「北越雪譜」、良寛、宮柊二、山岡荘八「徳川家康」	湯沢町、南魚沼市、みなかみ町 魚沼市
	美術：大地の芸術祭、星譲一	十日町市、津南町
	写真と絵画	全域で
	彫刻：石川雲蝶	魚沼市、南魚沼市、湯沢町
	音楽：フジロックフェスティバル	湯沢町
歴史と交流	上杉謙信、直江兼続	南魚沼市、湯沢町、みなかみ町
	三国街道	魚沼市、南魚沼市、湯沢町、みなかみ町
	清水峠：謙信尾根等歴史の道	南魚沼市、みなかみ町
	秋山郷と草津街道	津南町、栄村
	縄文遺跡、国宝火焰型土器（笹山遺跡）	十日町市、津南町
	河川交易(信濃川、魚野川)	十日町市、津南町、栄村 魚沼市、南魚沼市
農山村文化	雪国の暮らしと知恵（生活、住まい、食べ物、雪室） 各民俗資料館	全域の市町村
三国街道	峠	湯沢町、みなかみ町
	二居宿本陣跡 富沢家(史跡)	湯沢町
	脇本陣跡 池田屋(県指定史跡)	湯沢町
	永井宿	みなかみ町
	猿ヶ京関所跡	みなかみ町
	塩沢の街なみ（雁木）	南魚沼市
	堀之内方面	魚沼市
十日町街道	（飯山街道）	十日町市、津南町、栄村
松之山街道	高田平野から魚沼を通じて関東へのルート、文化庁「古道百選」（1996年11月）	十日町市
草津街道	秋山郷	津南町、栄村
JR 上越線	ループ式 トンネル	湯沢町、みなかみ町

★温泉観光地

圏域には各市町村すべてにそれぞれ温泉地や温泉施設がある。古くから開けた温泉地としては、湯沢温泉、松之山温泉、大湯温泉などがあり、天和元年（1681）の湯銭運上の記録として、大湯、湯沢、栃尾俣、松野山の4箇所の記録が残されている。

温泉は滞在の大きな魅力であり、この地域の温泉を最大限に売り込むことが、滞在を促進することにつながる。またそのみでなく他の観光的魅力をいかに付加するか、滞在しても満足度ある観光をどのように形成していくかが大きな課題である。個々の旅館ホテルで展開するのではなく滞在促進地区や、雪国観光圏域全体でお客様の満足するメニューを形成していくことを目指す。

圏域の主要温泉地	関係市町村
湯沢温泉（湯沢神立、Mt 苗場、湯沢土樽各エリア）	湯沢町
六日町温泉郷	南魚沼市
大湯温泉、栃尾又他の湯之谷温泉郷	魚沼市
松之山温泉、当間高原地区、十日町温泉郷	十日町市
津南温泉郷、秋山郷	津南町
秋山郷、北野天満温泉、中条温泉	栄村
水上温泉郷、猿ヶ京温泉	みなかみ町
そのほかにも温泉宿泊施設や日帰り型の温泉施設は圏域に多い	全市町村

次頁に観光資源の分布図を示す。

雪国観光圏の主な観光資源位置図



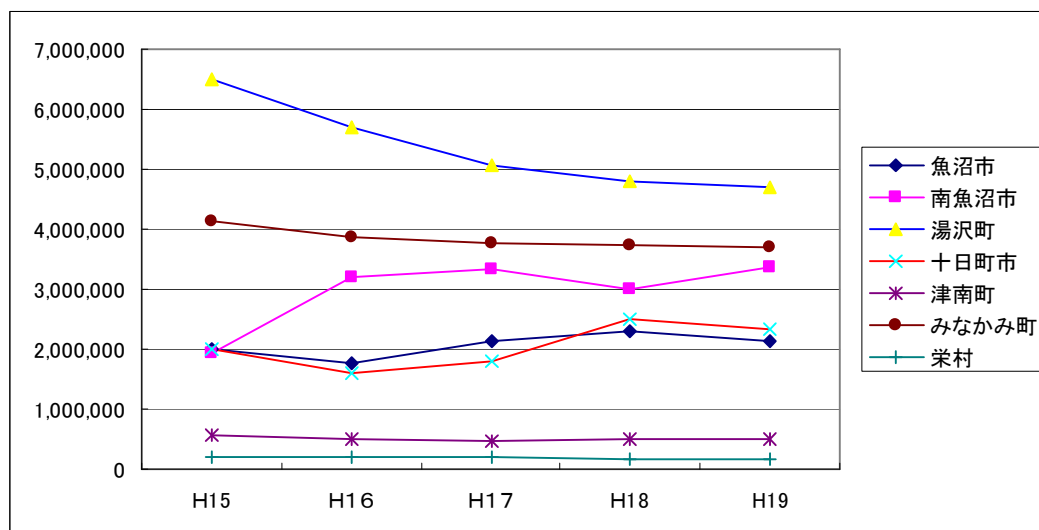
【観光の基礎データ】

圏域市町村の観光入込み動向

市町村	H15	H16	H17	H18	H19
十日町市	1,993,840	1,610,270	1,788,950	2,493,680	2,317,120
魚沼市	1,928,080	1,760,890	2,145,000	2,311,690	2,135,860
南魚沼市	3,921,030	3,184,880	3,316,790	3,012,230	3,373,640
湯沢町	6,515,250	5,699,760	5,073,760	4,790,060	4,701,370
津南町	576,770	497,980	465,160	500,880	503,700
みなかみ町	4,128,301	3,874,983	3,750,794	3,744,228	3,691,259
栄村	212,200	188,500	197,300	165,279	170,120
合計	19,275,471	16,817,263	16,737,754	17,018,047	16,893,069

出典：新潟県観光動態の概要、みなかみ町の統計資料、各市町村統計資料

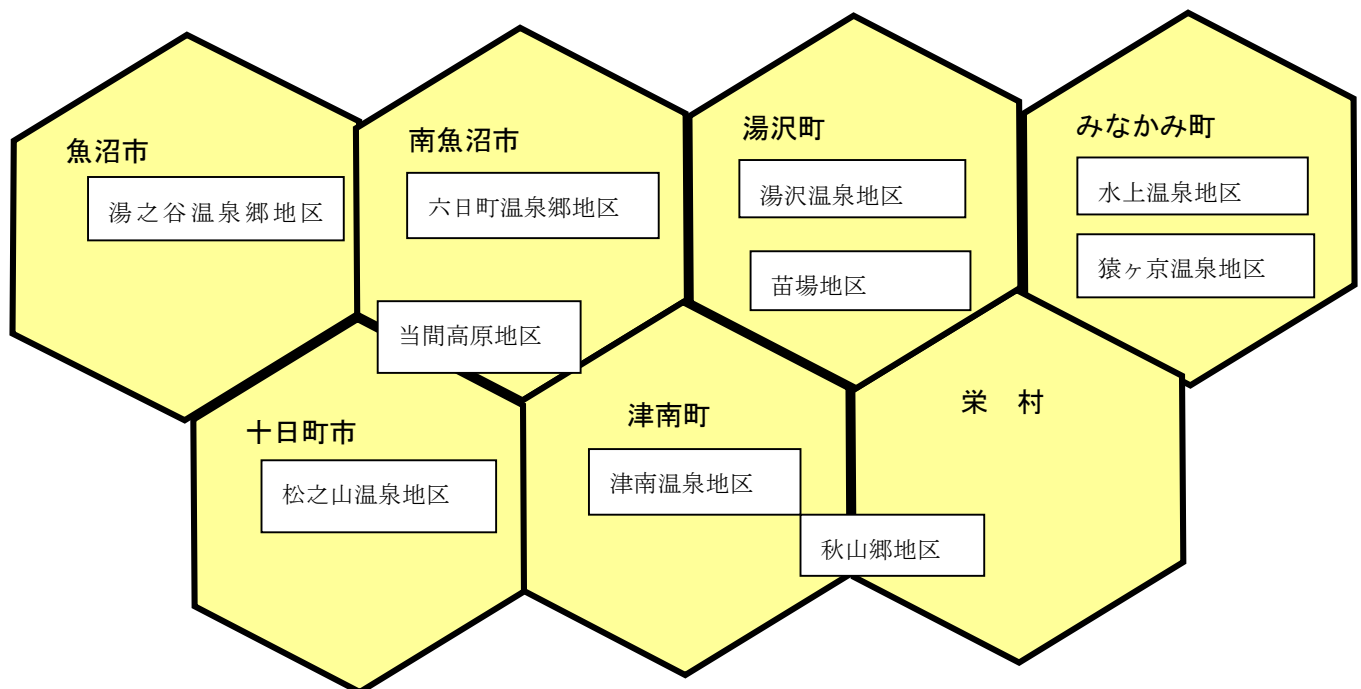
群馬県観光客数消費額調査、長野県観光地利用者統計調査



集計方法が統一されていないが、既存データからみると圏域全体の観光入込み数はおよそ 1,700 万人である。

3 滞在促進地区

当圏域の滞在促進地区を以下の通り設定する。選定にあたっては観光宿泊施設の集積が高く、滞在促進事業に積極的に取り組む地区を中心とした。圏域全体は広くそれぞれの地区における温泉地なども古くから形成されてきており、宿泊滞在型観光地として今後もさらにその魅力を高めていくことをめざす。



【滞在促進地区の特性】

滞在促進地区	所在地と範囲	宿泊施設数	特性と選定理由
湯之谷温泉郷地区	新潟県魚沼市葎沢、折立、栃尾又、大湯、銀山平	27	古くから知られた湯治場や大湯など集積ある温泉地が点在している。山間の温泉地として豊かな自然のほか、山岳、スキーや越後側からの尾瀬の入り口としても人気が高い。
六日町温泉郷地区	新潟県南魚沼市六日町	18	六日町駅を中心として点在するが山や川など豊かな自然が近くにあり、また雪国体験なども売り物となっている温泉地である。
湯沢温泉地区	新潟県湯沢町湯沢、神立	74	新潟県有数の温泉地で温泉旅館やホテルの集積度が高い。小説雪国の舞台としても有名。
苗場地区	新潟県湯沢町苗場	81	冬のスキーの集客力は高いがそれ以外にも登山や毎夏のフジロックコンサートでも有名である。ペンションなど宿泊施設の集積度が高い。
松之山温泉地区	新潟県十日町市松之山湯元	17	700年前に開湯といわれる天然自噴の古い山間の知るひとぞ知るひなびた温泉場である。周辺にはブナ林など自然豊かな地域でもあり近年は妻有トリエンナーレや越後田舎体験など新たな観光との連携も始まっている。
当間高原地区	新潟県十日町市当間	1	十日町市と南魚沼市に魚沼丘陵をまたいで広がる地域で冬のスキーのほかに夏の農林業体験などをプログラムとして行う民宿・ペンションも多い。
	新潟県南魚沼市大沢	50	
津南温泉郷	新潟県津南町下船渡	12	国道 405 号と 117 号沿いに点在する津南町にある温泉を総称して津南温泉郷と呼んでいる。津南駅前にある津南駅前温泉を中心に、秘湯が点在している。溪流釣り、ニューグリーンピア津南のリゾート施設やスポーツ施設のほか、付近観光スポットでは、紅葉の名所秋山郷、全国名水百選の龍ヶ窪などがある。

秋山郷地区	新潟県津南町結束	2	鈴木牧之が桃源郷と呼んだ秋山郷は、信濃川支流の中津川上流域に長野県と新潟県にまたがる狭谷地帯。深い谷と迫る山肌そして深い雪の春夏秋冬の豊かな自然と縄文の昔から受け継いだ歴史・文化は、旅するものを魅了する。宿泊施設がその溪谷沿いの温泉地に点在している。
	長野県栄村	22	
猿ヶ京温泉地区	群馬県みなかみ町猿ヶ京、湯宿	31	江戸時代には笹の湯・湯島温泉と呼ばれ、三国街道沿いで賑わった。しかし昭和33年、ダム建設のために温泉街を移し、名前も猿ヶ京温泉と改め、近代的なホテル街へと生まれ変わった。谷川連峰や苗場山などの山岳の自然と街道文化の特徴ある温泉地である
水上温泉地区	群馬県みなかみ町湯原、谷川、藤原	150	全国有数の温泉地として知られ、奥利根溪谷の温泉地で宿泊施設の集積度も高い。近年、谷川連峰はじめ登山やトレッキングに加えてラフティングなどアウトドアスポーツの場として訪れる人も多い。

4 観光圏整備計画の目標

雪国観光圏が目指す観光振興の目標を以下に設定する。国際観光対応と滞在型観光促進を目指す指標として以下の5つの目標値を掲げる。

【目標設定のねらい】

1. 外国人観光客に対しては、雪の魅力をアピールするのみでなく圏域で豊富な温泉を売り込み、田園風景や棚田、ブナ林等の原風景を背景とする地域内の資源を生かして夏冬通じた誘客を図る。
外国人観光客のこの圏域での入込み数、日本人観光客も含む滞在日数に関しては、今年度から圏域で手法を統一して実施する。
2. また日本人客に対しても1泊型の観光地からの脱却を図るため、滞在者を満足させる活動メニューの充実を図りその滞在促進を図る。
3. 当圏域では観光からの地域づくりと人づくりを進めていく観点から、その基礎データとして観光客の満足度を目標に加える。
4. 市民による地域づくりと雪国観光圏整備事業連動の検証システムを確立する。協議会においてはその中に一般市民参加の部会を設定して、市民を巻き込んだ地域ぐるみの受け入れ推進体制の確立を目指す。これにより観光圏整備の活動が地域づくりと連動していくことを市民の目で検証できるシステムを確立しその継続的改善を図る。

【雪国観光圏整備計画の目標】

いずれも基準年は平成20年度である。

1. 観光圏全体の入込み客数を増やす。5年後には6%増の目標。
2. 観光圏全体の外国人入込み数の拡大をめざす。5年後には2倍の目標。
3. 観光圏全体の宿泊者数の増加をめざす。5年後には5%増の目標。
4. 宿泊滞在者の平均宿泊日数の延長をめざす。5年後の連泊者の伸び率20%以上の目標。
5. 観光客の満足度を高める。5年後の満足度85%以上の目標。

	単位	20年(度)	21年(度)	22年(度)	23年(度)	24年(度)	備考：目標値
観光客数	人	17,100,000	17,500,000	17,600,000	17,900,000	18,200,000	伸び率6%
外国人客	人	40,000	45,000	50,000	65,000	80,000	2倍
宿泊者数	人	3,400,000	3,440,000	3,480,000	3,520,000	3,570,000	伸び率5%
連泊者数	人	67,500 (6,750)	70,000 (7,000)	73,000 (7,300)	77,000 (7,700)	81,000 (8,100)	伸び率20%
客の満足度	%	82.0 (82.0)	82.5 (82.5)	83.0 (83.0)	84.0 (84.0)	85.0 (85.0)	85%

()内は外国人客数

5 雪国観光圏整備事業

事業計画策定にあたっては、観光事業者や市民(宿泊、旅行業関係、ミニコミ編集者等)も交えた協議を各市町村で行い事業メニューに絞り込んだ。

事業設定の考え方としては、「雪国観光圏ブランドイメージの形成」を目指し、基本方針である「雪を通じた国際観光の展開」、「雪国らしい新たな観光産業の形成＝自然景観、温泉など地元観光資源の見直しと活用」、「滞在型観光の促進」、「地域づくり、人づくりの推進＝雪国らしいあたたかいおもてなしの心をもった受け入れ体制と人づくり、そして将来のまちづくり」の4分類の事業を実施する。

1) 宿泊の魅力向上に関する事業(滞在型観光の促進を目指して)

圏域の滞在促進地区のベースとなっている温泉観光地の魅力を引き出し、磨きだすことを目指し、そのグレードアップを図ることを中心として以下の事業を実施する。

個別事業	主要実施項目	実施地区 及び主体	実施予定 年度
1-1. 温泉の魅力再発見事業	「ぐるっと雪国周遊パスポート」： 温泉外湯巡りパスポート等の基礎調査(H21)、 実証実験 (H22)、実施 (H23)	湯沢温泉旅館商業協同組合	H 2 1 ～
	食べるクーポン：ミールクーポン 泊食分離をねらった食べるクーポンを滞在促進 地区において実証実験を実施し (H20) 実用化 していく(H21～)	〃	H 2 1 ～
	雪国会員構築： 携帯電話を利用したポイント制メンバーズメリッ ト創出事業 顧客管理と情報提供	〃	H 2 0、 2 1、2 2
	「極上の雪国」保全事業(エコ活動)	〃	H 2 0 ～
	温泉街を歩いて楽しむ「朝散歩促進事業」 ルート開発とマップ作成：ルート開発とマップ作 成の実証実験と実用化	新潟県旅館組合	H 2 2、 2 3

2) 観光資源を活用したサービスの開発および提供に関する事業（観光コンテンツの充実）

2-1) 観光資源活用に関する事業

(1) 観光圏イベント開発事業

観光資源としての「雪」を活かし、雪を最もアピールする観光イベントである各地区の雪祭りをネットワーク化することにより利用しやすい形態とし、時間(日程)や地域間をつないだ「ゆきぐに雪の陣」として新たな観光ブランドを創造する。

また地域に残る三国街道などの古道を活かし沿道にある温泉や史跡などを組み合わせたトレッキングコースやドライブコースを設定する。

この他に恵まれた山岳や森林の自然資源を活用したアウトドアイベントを開発する。

個別事業	主要実施項目	実施地区及び主体	実施予定年度
2-1-1. 「ゆきぐに雪の陣」	雪国ゆきまつりの共同実施（各地の雪祭り、国際雪合戦、浦佐毘沙門裸押合い等）：これまで個々に行ってきた雪国のイベントをつなげて「ゆきぐに雪の陣」としてプロモーション実施 (飲食店、宿泊施設の共通パスポートの発行 1-1に含む) (圏内周遊シャトルバスの試験運行 3 二次交通促進事業)	湯沢温泉旅館商業協同組合	H20～
2-1-2. 三国街道の歴史探訪交流イベント事業	三国街道歩きイベント実施 PR、マップとガイドブック作成、イベント実施	NPO法人「ゆ」	H21～
2-1-3. 雪国の食の魅力再発見事業	地産地消メニュー開発と販売促進 地場産品活用料理メニュー開発 雪国の農産物を味わう食のブランドと健康づくりのプログラム開発 食育プロジェクト 食育：つくる喜びと食から生きる力を学ぶ農業と食の体験プログラム	湯沢温泉旅館商業協同組合	H21～

(2)観光資源活用事業

圏域の資源を見直し、雪国や地域の特長のあるものをうまく活用する事業を実施する。主要な資源として「食」「原風景」「雪」がある。

個別事業	主要実施項目	実施地区及び主体	実施予定年度
2-1-4. 雪国の原風景活用 ルート開発事業	雪国観光圏の原風景ルート（以下のルート） の開発整備・PR(旅行商品化可能性調査) その 商標登録化	NPO法人ほくほ く村	H21～
	田園風景ルート（雪国の原風景の点景）	〃	H22、23
	棚田の風景ルート（越後野山の原風景棚田を アピール）	〃	H22、23
	アートの景観ルート（大地の芸術祭の作品群 紹介ルート）	〃	H21、22
	歴史文化景観ルート	〃	H23、24
	越後からの尾瀬トレッキングルート、銀山平 及び魚沼・三国の山並トレッキングルートと ガイドツアーのPR	魚沼市観光協会	H20～
	信越トレイルPRと活用展開	雪の都GO雪共和 国	H21、22
2-1-5. スキー場の魅力向上 事業	共通券の調査・調整および試行スキー場・観 光施設共通パス	湯沢温泉旅館商業 協同組合	H20、22 23、24
	雪体験ツアープログラム開発 スノウシューによる観察ツアー等実施しなが ら改善を加える	魚沼市観光協会	H21
2-1-6. 雪の資源活用プロジ ェクト	スキーのみでなく雪を資源として見直しその 先には実用化を前提とした調査研究事業(長 期的テーマ)	雪の都GO雪共和 国	H21～

2-1-7. アウトドアの魅力向上事業	体験プログラム開発とプログラム共有化の制度確立のための調査事業	湯沢温泉旅館商業協同組合	H 2 1 ～
	田植え体験、森遊び講座、きのこ収穫トレーニング、かまくらづくり体験等体験プログラムの提供	南魚沼市観光協会	H 2 0 ～
	アウトドアイベント山岳アドベンチャーフェスティバル：みなかみ～清水～谷川	みなかみ町観光まちづくり協議会	H 2 1、2 2
	各キャンプ場及びアウトドア系の観光資源・施設の体験メニュー及び資源ネットワークや人材そして共有プログラム等の相互連携を図る。	〃	H 2 3、2 4

（２－２）人材育成事業

圏域の各地域において「おもてなしの心」を育む人材育成事業を展開する。元々、この雪国の人々には、素朴さと人の良さそして人情味ある暖かさは備わっている。これを大切にしながら、国際的な観光地として外国の人々も受け入れられるように観光関係者のみでなく圏域の人々全体に受け入れの体制を醸成する。

個別事業	主要実施項目	実施地区及び主体	実施予定年度
2-2-1. 観光ガイドの育成事業と雪国検定の実施	観光コンシェルジュ養成	NPO法人「ゆ」	H 2 1 ～ 2 4
	ネイチャーガイド養成と登録		H 2 1 ～ 2 4
	雪国検定： 人材育成のツールとして、また資格や実力の評価基準に検定を活用		H 2 1 ～ 2 4
	圏域共通のテキスト＝ガイドブック作成： 雪国検定に付随して圏域全体のガイドブック及びガイド用テキストとして編集する		H 2 1 ～ 2 4
2-2-2. もてなし体制づくり事業	接客・接遇マナー研修： 地域全体の宿泊施設対象に実施、全域で 5 回実施、講師、人材育成事業と連動させる		H 2 1、2 2、 2 4

3) 交通・移動の利便性向上に関する事業

既存交通手段を活用し、その接続など現状を改善していくなかで利便性向上を図る。

個別事業	主要実施項目	実施地区及び主体	実施予定年度
3-1. 二次交通促進事業	日帰り周遊観光バス・乗合観光タクシー運行、イベントシャトルバス運行 (実証実験調査)	NPO法人南魚沼もてなしの郷	H20、22
	共通乗車・乗船チケット基礎調査と実証実験：共通乗車乗船券は圏域の共通パスポートで対応		H22
	観光ガイドンス付車窓旅行の提供基礎調査と実証実験実施：ほくほく線、上越線、只見線、飯山線	湯沢温泉旅館商業協同組合	H22
	周遊バス運行	NPO南魚沼もてなしの郷	H21、22

4) 観光案内・情報提供に関する事業

長期的に地域ブランドイメージを形成する。

個別事業	主要実施項目内容	実施地区及び主体	実施予定年度
4-1. 雪国観光圏認定案内所設営事業	認定観光圏案内所の設置 圏域の既存の各観光案内所もロゴ統一及び情報共有のネットワーク化を図る 拠点案内所は湯沢駅周辺及び十日町駅周辺に設置する	えちご魚沼観光開発協議会	H20、21

4-2. 国際観光受け入れ基 盤整備事業	外国人対応の観光情報提供マニュアル 整備：外国人も1人出歩ける観光地づ くりをめざした観光情報の提供のため に圏域共通のサインマニュアル整備	えちご魚沼観光開発協 議会	H21
	国際観光に対応した案内サイン整備： 圏域全体サイン整備は英語を基本とし た外国語併記および、ピクトグラム(標 準案内用図記号)の採用により外国人 客に対応した観光地の基盤条件整備を 目指す(5-2と連動させる)	えちご魚沼観光開発協 議会	長期課題
4-3. 観光圏広報事業	IT・ケータイ活用の情報システム整備 (まちナビ整備事業は別事業)	十日町市観光協会	H20～22
	広域観光マップ等ツールの整備	湯沢温泉旅館商業協同 組合	H21、22
	会員会報誌の編集発行：リピーター確 保および2地域居住を目指して	NPO法人「ゆ」	H21、22
4-4. 観光ユビキタス事業	観光情報の一元化、利便性の高い双方 向情報提供のシステム	湯沢温泉旅館商業協同 組合	H20～24

5) その他の事業

個別事業	主要実施項目	実施地区及び主体	実施予定年度
5-1. 観光圏モニタリ ング調査事業：顧 客満足度の調査	①宿泊施設、宿泊客に対するアンケート調査の 実施～圏域統一フォーマット作成 ②モニターツアー実施 ：集計解析と結果を検証して事業報告として提 出する	湯沢温泉旅館商業 協同組合	H20～
5-2. 雪国観光圏ブラ ンド計画の整備	ロゴマークやシンボルカラー、シンボルキャ クター、キャッチフレーズなど統一ブランド計 画とマニュアル作成、それを活用したPR活動の 展開	湯沢温泉旅館商業 協同組合	H20～

6 計画期間等

【計画期間】

計画期間は平成20年度から平成24年度までとする。

【計画の見直しについて】

計画は各年ごとに協議会において事業の検証とともに再度確認し、必要があれば見直し・変更をかけ継続的な改善を図る。新潟県知事及び構成市町村長が共同で変更した計画は協議会の協議・承認を得て、北陸信越運輸局を通じて国土交通大臣及び農林水産大臣に送付する。

また変更した計画は公表するものとする。

「事業一覧表」として次頁に示す。

雪国観光圏 事業一覧

		個別事業	主要実施項目内容	実施地区及び主体	事業該当項目
1) 宿泊の魅力向上に関する事業	1-1.	温泉の魅力再発見事業	ぐるっと雪国周遊バスポート、温泉外湯巡りバスポートの基礎調査・システム構築(H21)、実証実験(H22)、システム改善と実用化(H23～)	湯沢温泉旅館商業協同組合	c
			食べるクーポン、飲食店共通バスポート:実証実験と実用化	湯沢温泉旅館商業協同組合	a
			雪国会員構築、ポイントカードメンバー、携帯電話を利用したポイント制メンバー	湯沢温泉旅館商業協同組合	d
			観光情報データベース顧客情報管理		
			「極上の雪国」保全事業(エコ活動)	湯沢温泉旅館商業協同組合	e
			歩いて楽しむ温泉街:街並み修景と景観計画、温泉街「朝散歩促進事業」	新潟県旅館組合	a
2) 観光資源を活用した事業	2-1-1.	「ゆきぐに雪の陣」:新しい雪国の祝祭	雪国ゆきまつりの共同実施(各地の雪祭り、国際雪合戦、浦佐毘沙門裸押合い等):「ゆきぐに雪の陣」としてプロモーション実施	湯沢温泉旅館商業協同組合	b
			(飲食店、宿泊施設の共通バスポートの発行:1ー1食べるクーポン実証実験及び実用化)		
			(圏内周遊シャトルバスの試験運行:3二次交通促進事業)		
	2-1-2.	三国街道の歴史探訪交流イベント事業	三国街道歩きイベント実施 PR、マップとガイドブック作成、イベント実施	NPO法人「ゆ」	b
	2-1-3.	雪国の食の魅力再発見事業	地産地消メニュー開発研究と販売促進	湯沢温泉旅館商業協同組合	b
			雪国の農産物・農と観光連携プログラム開発研究		
			食育プロジェクト:つくる喜びと食から生きる力を学ぶ農業と食の体験プログラム開発と実施		
	2-1-4.	雪国の原風景活用ルート開発事業	雪国観光圏の原風景ルート(以下のルート)の開発・PR(旅行商品化可能性調査、結果を見て随時実用化)	NPO法人ほくほく村	b
			田園風景ルート(雪国の原風景)		
			棚田の風景ルート(越後野山の原風景棚田をアピール)		
			アートの景観ルート(大地の芸術祭の作品群紹介ルート、美術館博物館巡り)		
			歴史文化景観ルート		
			越後からの尾瀬トレッキングルートとガイドツアーのPR、銀山平及び魚沼・三国の山並トレッキングルート	魚沼市観光協会	
	2-1-5.	スキー場の魅力向上事業	共通券の調査・調整、スキー場・観光施設共通バス(試験施行H20と実用化H22以降)	湯沢温泉旅館商業協同組合	b
			雪体験ツアー スノウシューによる観察ツアー	魚沼市観光協会	
	2-1-6.	雪の資源活用プログラム	スキーのみでなく雪を資源として見直しその先には実用化を前提とした調査研究事業(長期的テーマ)	雪の都GO雪共和国	b
	2-1-7.	アウトドアの魅力向上事業	体験プログラム開発とプログラム共有化の制度確立のための調査事業	湯沢温泉旅館商業協同組合	b
			田植え体験、森遊び講座、きのこ収穫トレッキング、かまくらづくり体験等体験プログラムの提供	南魚沼市観光協会	
			アウトドアイベント:山岳アドベンチャーフェスティバル等:みなかみ～清水～谷川	みなかみ町観光まちづくり協会	
			各キャンプ場及びアウトドア系の観光資源・施設の体験メニュー及び資源ネットワークや人材そして共有プログラム等の相互連携を図る。		
2-2) 人材育成事業	2-2-1.	雪国観光ガイドの育成事業と雪国検定の実施	観光コンシェルジュ養成	NPO法人「ゆ」	a
			ネイチャーガイド養成と登録		
			雪国検定の実施		
			圏域全体のガイドブック及びガイド用テキスト		
	2-2-2.	もてなし体制づくり事業	接客・接遇マナー研修	NPO法人「ゆ」	a

		個別事業	主要実施項目内容	実施地区及び主体	事業該当項目
3) 交通・移動の利便性向上に関する事業	3-1.	二次交通促進事業	日帰り周遊観光バス・乗合観光タクシー運行、イベントシャトルバス運行 実証実験調査(H20)	NPO法人南魚沼もてなしの郷	c
			共通乗車・乗船チケット基礎調査と実証実験: 共通乗車乗船券は圏域の共通パスポートで対応		
			観光ガイドンス付車窓旅行の提供基礎調査と実証実験実施: ほくほく線、上越線、只見線、飯山線	湯沢温泉旅館商業協同組合	
			周遊バス運行	NPO法人南魚沼もてなしの郷	
4) 観光案内・情報提供に関する事業	4-1.	雪国観光圏広域案内所設置事業	雪国観光圏広域案内所の設置 圏域の既存の各観光案内所もロゴ統一及び情報共有のネットワーク化を図る。	えちご魚沼観光開発協議会	d
	4-2.	国際観光受け入れ基盤整備事業	外国人対応の観光情報提供マニュアル整備: 外国人も1人出歩ける観光地づくりをめざした観光情報の提供のために圏域共通のサインマニュアル整備	えちご魚沼観光開発協議会	d
	4-3.	観光圏広報事業	IT・ケータイ活用の情報システム整備(別事業)	十日町市観光協会	d
			広域観光マップ等ツールの整備(他事業と連動)	湯沢温泉旅館商業協同組合	
			会員会報誌の編集発行: リピーターの確保のために	NPO法人「ゆ」	
	4-4.	観光ユビキタス事業	観光情報一元化、利便性の高い双方向情報提供システム	湯沢温泉旅館商業協同組合	d
その他事業	5-1.	観光圏モニタリング調査事業: 顧客満足度	宿泊施設、宿泊客に対するアンケート調査の実施～圏域統一フォーマット作成 モニターツアー実施: 集計解析と結果を検証して事業報告として提出する	湯沢温泉旅館商業協同組合	a
	5-2.	雪国観光圏ブランド計画の整備	ロゴマークやシンボルカラー、シンボルキャラクター、キャッチフレーズなど統一デザイン計画とマニュアル作成、それを活用したPR活動の展開、サイン整備など	湯沢温泉旅館商業協同組合	d

注1. 事業該当項目(実施計画概要による区分)

a: 観光旅客の宿泊に関するサービスの改善及び向上に関する事業

b: 観光資源を活用したサービスの開発及び提供に関する事業

c: 観光旅客の移動の利便の増進に関する事業

d: 観光に関する情報提供の充実強化に関する事業

e: その他の事業

7 その他市町村または県が必要と認める事項

観光圏整備事業の前提となる社会資本整備、公共交通活性化、地域再生・地域活性化を目的とする関連事業は以下のとおり。

地区	事業名	事業概要
南魚沼市	まちづくり交付金事業 ＜兼続地区＞	NHK大河ドラマ放映により、観光客の急激な増加が予想される南魚沼市JR上越線六日町駅周辺の、道路改良と観光交流駐車場、観光交流センター、散策道、情報の駅などハード整備と天地人博の開催、観光PRのソフト事業を行うもの。当該区域は雪国観光圏滞在促進地区であり、滞在の促進に資する景観整備、情報拠点の整備、交通インフラの整備が喫緊の課題である。 事業期間 平成20年度～平成24年度
南魚沼市	まちづくり交付金事業 ＜塩沢地区＞	南魚沼市JR上越線塩沢駅前周辺の道路整備に伴い実施する雁木整備と家並み統一を地域が一体となって行う景観作り事業。平成20年度現在で雁木通りの景観が出来上がっており、美しい景観は観光客を引き付け、人通りは絶えない。風情のある通りは雪国観光圏整備計画の「観光イベント」の開催場所としてや、雪国の原風景として旅行商品のルート開発など利用価値は大きい。 事業期間 平成18年度～平成21年度
魚沼市	まちづくり交付金事業 ＜堀之内地区＞	魚沼市JR上越線堀之内駅周辺の道路整備に加えイベント（月岡公園ユリ祭り）の実施と周辺に情報板を整備し、賑わいを再生しようとするもの。駅前周辺は空き店舗を利用した交流スペース「よってげ亭」をオープンさせるなど活動が活発で、観光圏整備のモデルとなる地区。 事業期間 平成20年度～平成24年度
魚沼市	まちづくり交付金事業 ＜入広瀬地区＞	魚沼市の入広瀬地区の道路整備と道の駅「いりひろせ」機能強化、さんさい共和国再生を行うもの。町村合併以前から「さんさい共和国」を謳いまちづくりを進めてきた入広瀬地区は、豊富な山菜を売り物にして展開してきたが、近年は慢性化の打破が課題となっている。観光圏事業で地域資源のPR強化を図ることにより、活性化が期待される。 事業期間 平成17年度～平成21年度

地区	事業名	事業概要
湯沢町	まちづくり交付金事業 ＜土樽西地区＞	湯沢町でも有数の大型ホテル・マンションのアクセス道路 跨線橋架け替えに加え、周辺地域の観光資源（カタクリ群生 地、ホタル生息地）の整備、イベント開催（魚つかみどり、 収穫祭）の支援を行う。カタクリ群生地、ホタル生息地とも 整備が完了しており、本年は多くの観光客が訪れた。外国人 客と長期滞在に対応する大型ホテル・マンションへのアクセ ス道路改良は観光圏が目指す方向に一致する。 事業期間 平成18年度～平成22年度
みなかみ町	まちづくり交付金事業 ＜湯原地区＞	みなかみ町ＪＲ上越線水上駅を中心とする地区の道路や公 園、トイレの一体的な再整備、ＪＲ水上駅と道の駅「水紀行 館」を結ぶ遊歩道整備により、観光客が「歩いて回れるまち づくり」をするもの。同地区は雪国観光圏滞在促進地区内で あり、社会資本整備により滞在促進が期待される。 事業期間 平成16年度～平成20年度
みなかみ町	まちづくり交付金事業 ＜後閑駅周辺地区＞	みなかみ町ＪＲ上越線後閑駅周辺の道路整備により徒歩系ア クセスの向上と賑わいの創出を図るもの。賑わい創出のため 地域住民による「まちづくり組織」の活動支援も行う。整備 により雪国観光圏の関東からの玄関口として、魅力向上を図 る。 事業期間 平成20年～平成24年

8 連携と推進の体制「雪国観光圏推進協議会」

平成20年8月7日に湯沢町において雪国観光圏推進協議会が発足した。

【経 過】

平成19年 3月 6日	平成21年10月～12月のディスティネーションキャンペーン開催地域に新潟県が決定された旨、JR東日本から通知
平成19年 4月26日	平成21年のNHK大河ドラマに「天地人」が決定
平成19年10月29日	国土交通省総合政策局観光地域振興課にて、総合政策局観光部門での平成20年度概算要求等に関する説明会が開催され、広域観光圏形成について説明がある。
平成19年10月31日	2009新潟県大観光交流年推進協議会が設立される。
平成20年 2月28日	湯沢温泉旅館組合主催にて「広域観光連携シンポジウム「ぐるっと雪国」」が開催される。湯沢町、南魚沼市、魚沼市、十日町市、みなかみ市、津南町、栄村の行政ならびに民間関係団体が出席され、広域観光連携の必要性の共通認識をもつ。
平成20年 3月～4月	雪国観光圏設立に向けて、関係団体等への説明や調整を実施
平成20年 5月13日	第一回設立準備委員会を開催。広域観光圏域の行政や民間団体が参加し、観光圏整備事業の概略と協議会設立に向けての説明を行う。
平成20年 5月29日	第二回設立準備委員会を開催。
平成20年 6月20日	事業推進委員会予定者の顔合わせ会を開催。事業概略についての役割を確認する。
平成20年 7月11日	宿泊業者を対象にした観光圏整備事業実施計画説明会を開催。
平成20年 7月30日	関係市町村の観光圏担当課長会議を開催。
平成20年 8月 7日	雪国観光圏推進協議会設立総会開催

【協議記録】

資料編に示す。

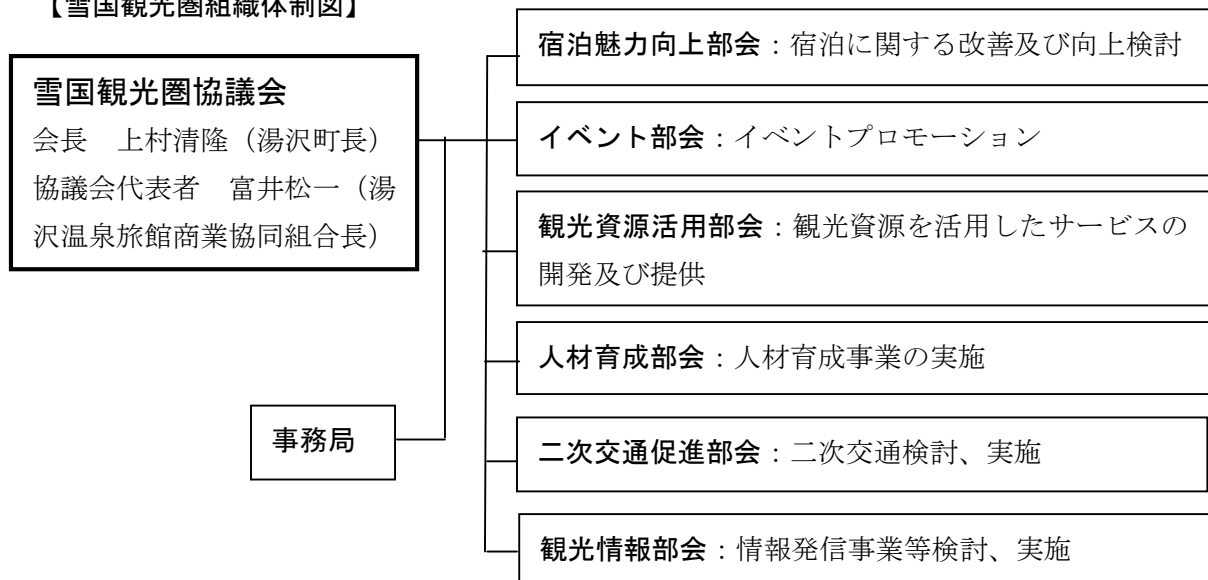
【推進体制】

・協議会役員

役職名	所属(職)名	氏名
会長	湯沢町長	上村 清隆
副会長	南魚沼市長	井口 一郎
〃	十日町市長	田口 直人
理事	みなかみ町観光まちづくり会長	岩田 昭文
	魚沼市観光協会会長	阪西 由紀夫
	十日町市観光協会会長	村山 義政
	南魚沼市観光協会専務理事	小野塚 昭治
	NPO法人雪の都GO雪共和国理事長	相沢 博文
	松之山温泉組合長	小野塚 力
	湯沢温泉旅館商業協同組合（湯沢温泉旅館組合長）	富井 松一
監事	湯沢町商工会長	岸野 雅人
	塩沢町商工会経営室長	貝瀬 久

- ・事務局：湯沢町、十日町市、南魚沼市、湯沢温泉旅館商業協同組合
- ・事業推進委員会：ワーキングチームとして会員及び任意の参加を得て編成する

【雪国観光圏組織体制図】



【協議会構成員 名簿】

(平成 20 年 9 月 5 日現在)

区分	会員	区分	会員
行政	新潟県産業労働観光部	民間団体	NPO 法人 南魚沼もてなしの郷
	新潟県南魚沼地域振興局		NPO 法人 ほくほく村
	新潟県魚沼地域振興局		NPO 法人 雪の都 GO 雪共和国
	新潟県十日町地域振興局		湯之谷温泉郷・尾瀬ルート活性化委員会
	十日町市		NPO 法人 ゆ
	魚沼市		松之山温泉合同会社 まんま
	南魚沼市		NPO 法人 かねさま蕎麦会
	湯沢町		NPO 法人 U n u m a 環境技術研究所
	津南町		湯沢温泉旅館商業協同組合
	みなかみ町（群馬）		松之山温泉組合
	栄村（長野）		大湯栴尾又温泉旅館協同組合
民間団体	新潟県旅館組合		六日町温泉旅館組合
	みなかみ町観光まちづくり協会		猿ヶ京温泉旅館組合
	えちご魚沼観光開発協議会		津南町旅館組合
	魚沼市観光協会		(株)エヌ・ティー・ティー・ドコモ
	十日町市観光協会		株式会社 電通東日本新潟支社
	津南町観光協会		財団法人新潟経済社会リサーチセンター
	南魚沼市観光協会		株式会社 グリーンシグマ
	湯沢町観光協会		株式会社 エイエイピー新潟支店
	湯沢町商工会		
	みなかみ町商工会		
	栄村観光協会		

資料編に協議会規約を添付する。

【雪国観光コンベンション協会・活動の継続】

なお H25 年度以降は協議会を発展的に継承して「雪国観光コンベンション協会」を設立し(H24 年度から準備)、観光と地域づくりの積極的な活動展開の母体とする。

9 住民との協議及び検討結果

【経 緯】

平成20年		項 目	内 容
3月		観光圏基礎調査実施	
	18～ 26日	南魚沼市住民ヒアリング 魚沼市住民ヒアリング 湯沢町住民ヒアリング 十日町市住民ヒアリング 南魚沼市住民ヒアリング	今回の事業内容の説明とヒアリング実施 「自分達で出来る(実施している)観光メニューや体験プログラム」「今後取り入れていきたい観光メニューや体験プログラム」「その他の観光メニュー」及び「現況の課題」の拾い出しと整理
5月	29日	観光圏協議会の設立準備会 (湯沢町)	協議会設立と整備計画実施計画の立案に向けた協議
6月	20日	事務局及び観光事業者による 代表者会合 (湯沢町)	
7月	4、8、 18日	津南町、みなかみ町、栄村 住民及び事業者、行政との 協議	事業説明と今後の方針説明
8月	7日	雪国観光圏協議会設立総会 (湯沢町)	
9月	2～ 8日	パブリックコメント実施	

なお住民との検討(ヒアリング)結果は資料に一覧表で示す。(事業基礎調査他より)